

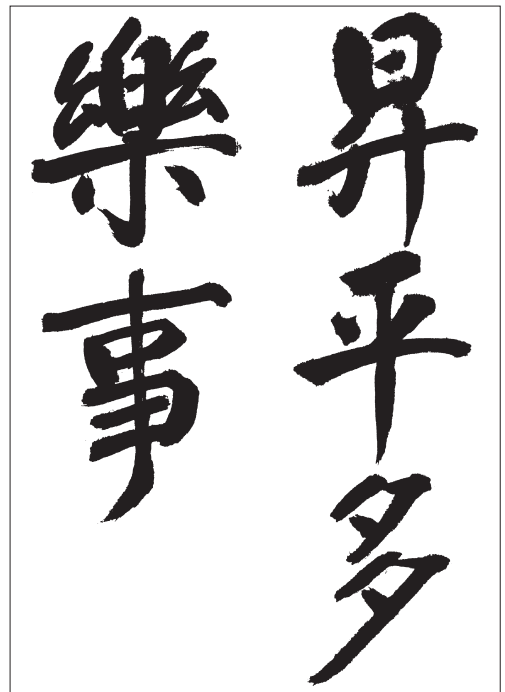
◆半紙二行たて書きに臨書して下さい。出品料430円

書譜 孫過庭



- 1、 字句 俯習寸陰
- 2、 形式 半紙タテ使用。右に「俯習」、左に「寸陰」と臨書し、左余白に落款「〇〇臨」と調和を工夫し書き入れる。
- 3、 概観 今回は文字の構え、力のバランスについて見てみます。書譜の「遠」と十七帖の「遠」を見比べてみましょう。孫過庭は王羲之書法をもっともよく受け継いだ人だと評されており、この「遠」も非常によく似ています。書譜の「遠」では均衡感の見事さには驚かされます。書き始めは小さく、三画目の横画は左へ大きく張り出し、右側にはあまり出さず、あとの筆画を右に張り出して呼応させています。この画面の広がりによって字幅が出せたために、最終画の之繞では小さくそっと受けとめたといった感じですね。十七帖の「遠」は二画目を左へ（書譜では右に）書いていますが、書譜との違いはこの二画目の方向の違いだけで、両者ともバランスは見事と思われれます。
- 4、 各字のポイント
 - 俯 一画目上から入筆し、筆を引き上げかぶせるように運筆。旁の点と二画目の横画は広くあげ、続く斜画はかぶせるように。
 - 習 頭を大きくし、下は小さく纏める。運筆は裏、表の連続。
 - 寸 一画目稍掬い上げる。ハネは左へ押し出すように。
 - 陰 一画目強く、旁は左へ移動するような運筆。終画を右に寄せて、バランスをとる。

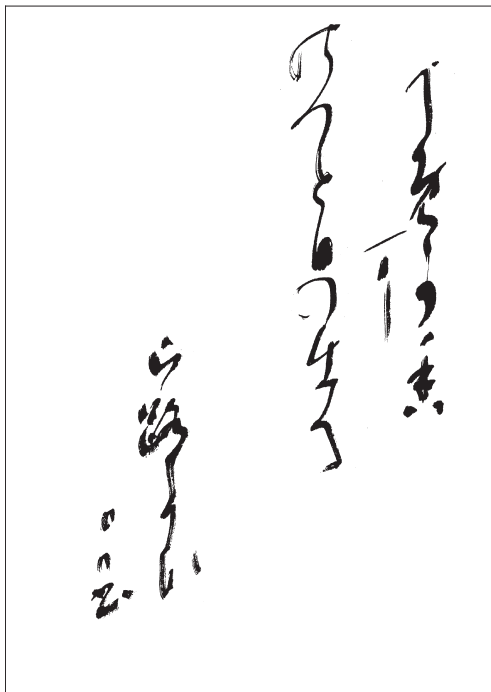
半紙課題(予告) (一月二十二日締切)

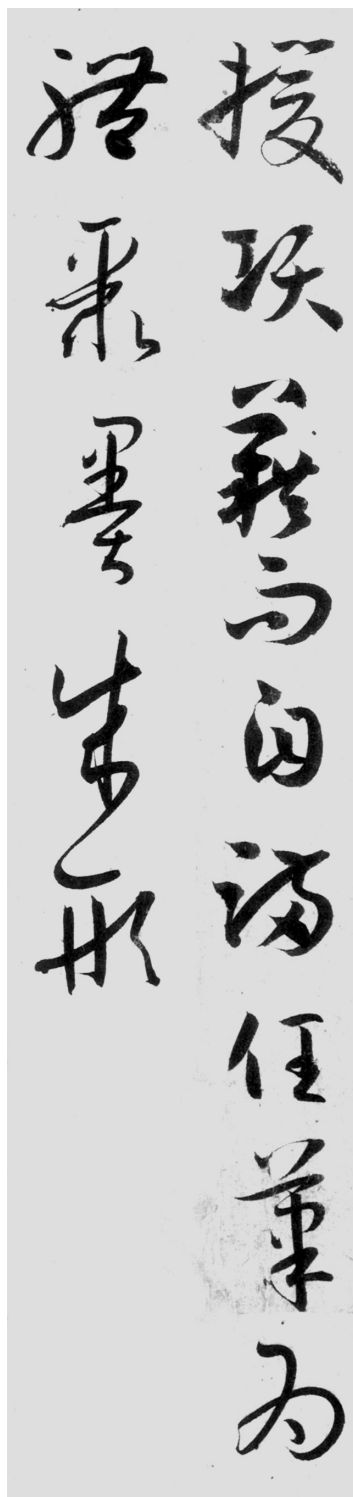


平岡華雪先生書 昇平樂事多し(蘇軾)

訳：世の中がおさまって楽しいことが多い。

平岡華雪先生書 うめが香にのつと日の出る山路かな(芭蕉)





援項籍而自滿。任筆為體。聚墨成形。

項籍を援ひいて自みずから満みんず。筆に任せて体を為し、墨を聚あめて形を成し、

楚の項羽を楯にして悪筆に自己満足している。筆に任せてでたらめな字を書き、墨を引けば字の形を成すとしている。

※随意部参考（半紙・条幅）としてもご利用下さい。抜粋可。

随意部半紙は無料。随意部条幅は一枚目無料、二枚目から五四〇円。

一字書（十二月二十二日締切）

課題

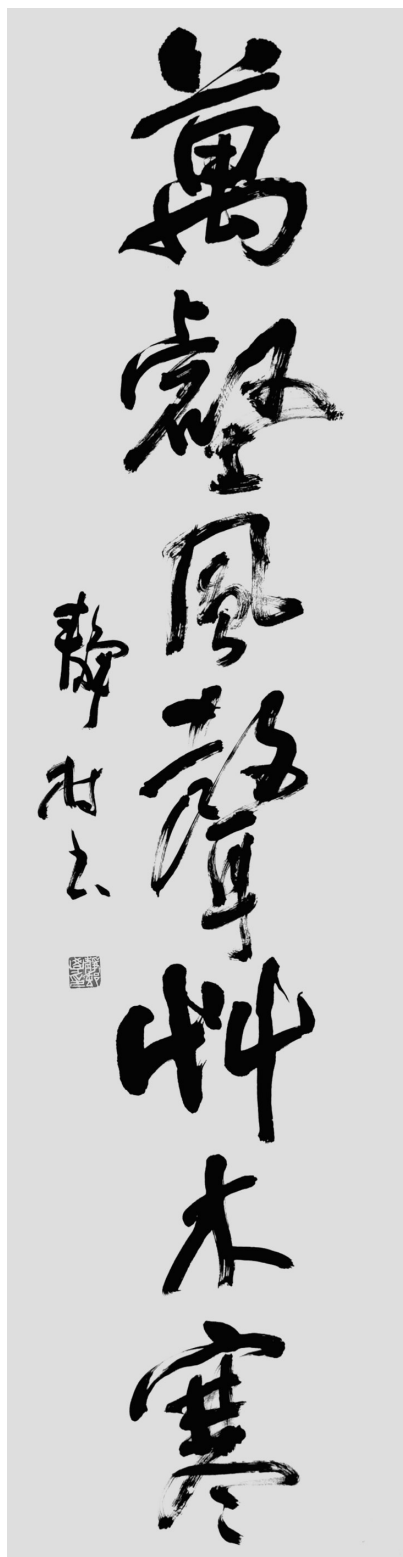
飛

- (1) 書体自由
- (2) 半紙タテ ※ヨコは中止
- (3) 落款は余白に調和を工夫し書き入れる
- (4) 出品料 四三〇円
- (5) バーコード券貼付 太枠内の臨昇の隣の空欄に
一字と記入 段級は無記入

A

鈴木静村先生書

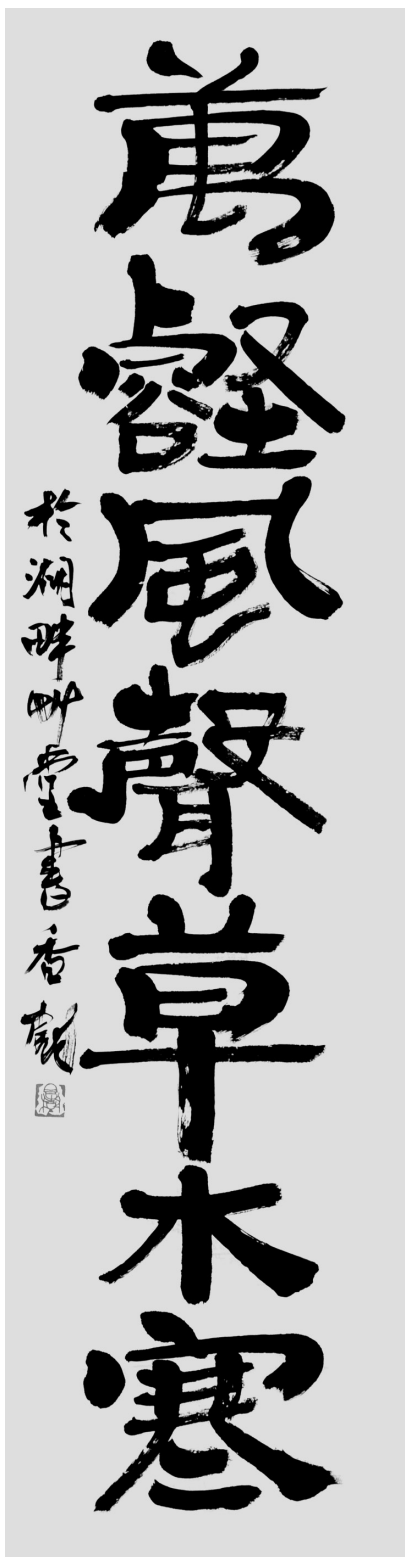
萬壑風聲草木寒(黄庚)
まんかくふうせい そうもくさむ
万壑風声、草木寒し。



B

高橋香樹会長書

一行ものは中央に書くのが一般的。ただ落款を意識して、やや右へ寄せる人もあるが、私は従来から本文を真ん中に書き、その余白に即して落款を書き入れている。なお墨継ぎ―漢詩七言句は四字・三字と区切って読み、意味を理解する。表出上も五字目での墨継ぎが適切。



於湖畔
香樹書

一行書でも一行目八字、二行目八字の配字が多いなかで一行書七字という仲々難しい課題です。そこで横に広がる木簡で書いてみました。木簡はわりと自由な形、書き振ります。線の強弱、特に縦画を太く横画を細く、転折ではそこで力を加えたりとどまることなく運筆しています。八分は最小限にとどめました。

訳：風は多くの谷また谷へ吹き荒れて草木までが寒い。

予告 (一月二十二日締切)

月回浦北千尋雪

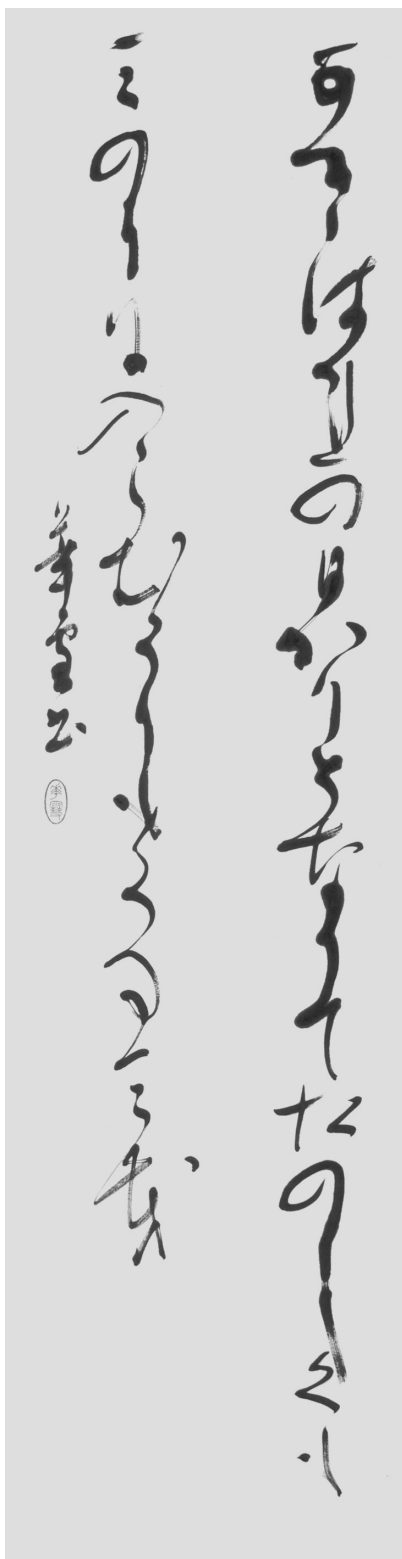
樹出湖東幾點煙(曹鄴)

- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
 - ・二枚目からの出品(バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

A

平岡華雪先生書

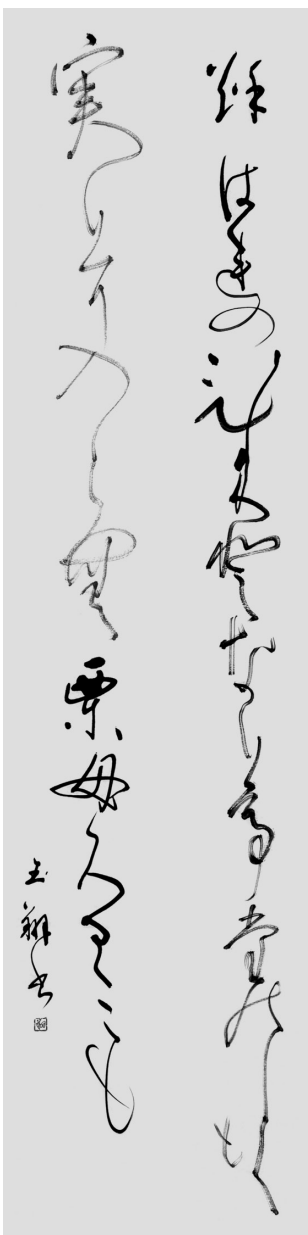
秋晴れの光となりて楽しくもみのりに入らむ栗もくるみも(斎藤茂吉)
あきは連の日かりとなりてたのし久も三のり尔入らむ久りも久る三茂



B

福田玉翔先生書

秋は連の飛可利登なり亭堂能しくも実り耳入ら無栗母久る三も



学び方

冒頭の「秋」の字は字形を縦長にするために偏と旁が逆になっている文字を使い、先月解説したように基本的な条幅の作り方に則って書きました。

即ち一行目は真ん中を膨らませたエンタシスの形、二行目の上部は渴筆を生かして華やかさを表現し真ん中より少し下方で一回墨継ぎをします。基本的な条幅の作り方です。

乾季雨季だけです。十二月の雪の降る日に初めてミャンマーに渡るとき、日本の空港に「南の国にコートはいらない。コート一時お預り所」という看板を見ました。私は移住するので信じられない思いでコートをカバンに入れて持っていました。ミャンマーの空港を出るとムアールと熱気に襲われました。やはり私は四季のある日本が好きです。実りの秋はいいですね。

最近の地球温暖化にもめげず秋はまたやってきました。私は四年弱ミャンマーに住んでいましたので、秋が来なければ日本も亜熱帯の東南アジアの気候と同じになったのかと思えました。しかし日本には秋が確実に訪れました。日本は四季があり有難いです。ミャンマーは

予告 (二月二十二日締切)

何となく今年はいい事あることし元日の朝晴れて風無し(石川啄木)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料540円)

条幅部 随意参考

野田麗夕先生書

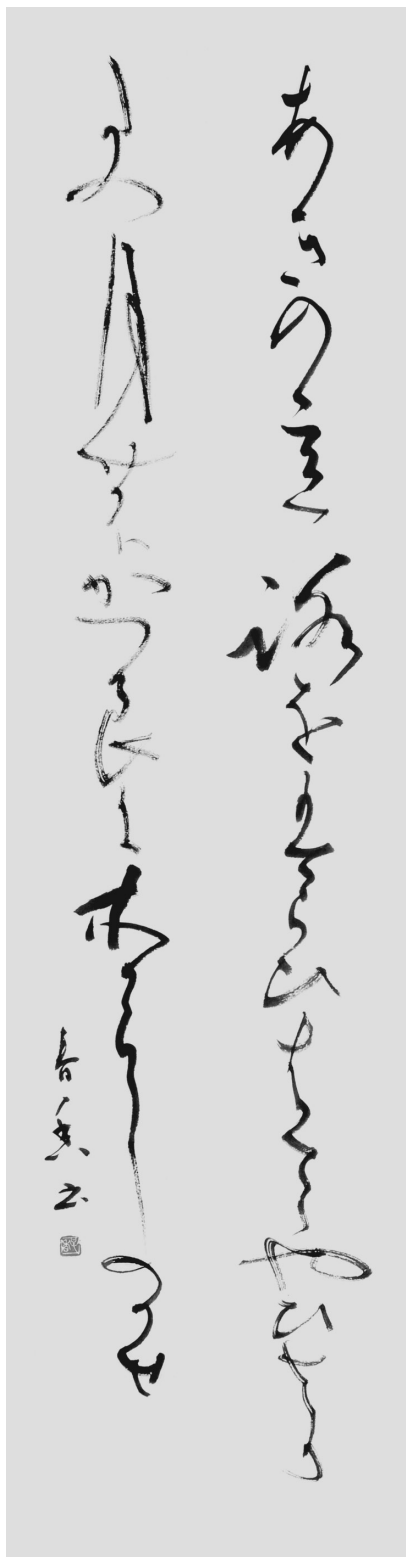
霜深野岸鳥啼月 楓落寒江人夢秋（張蘇）
 霜深く野岸鳥月に啼き、楓落ち寒江人秋を夢む。



訳：霜は深く野の岸に降りて、鳥は月に鳴き、寒い川べの落楓には秋を夢みている人がある。

石原春香先生書

秋の色をはらひはててやひさかたの月の桂にこがらしの風（新古今和歌集）
 あきの意路を盤らひ者て、やひさ可多の月農かつ良尔木可らしの可せ 雅経



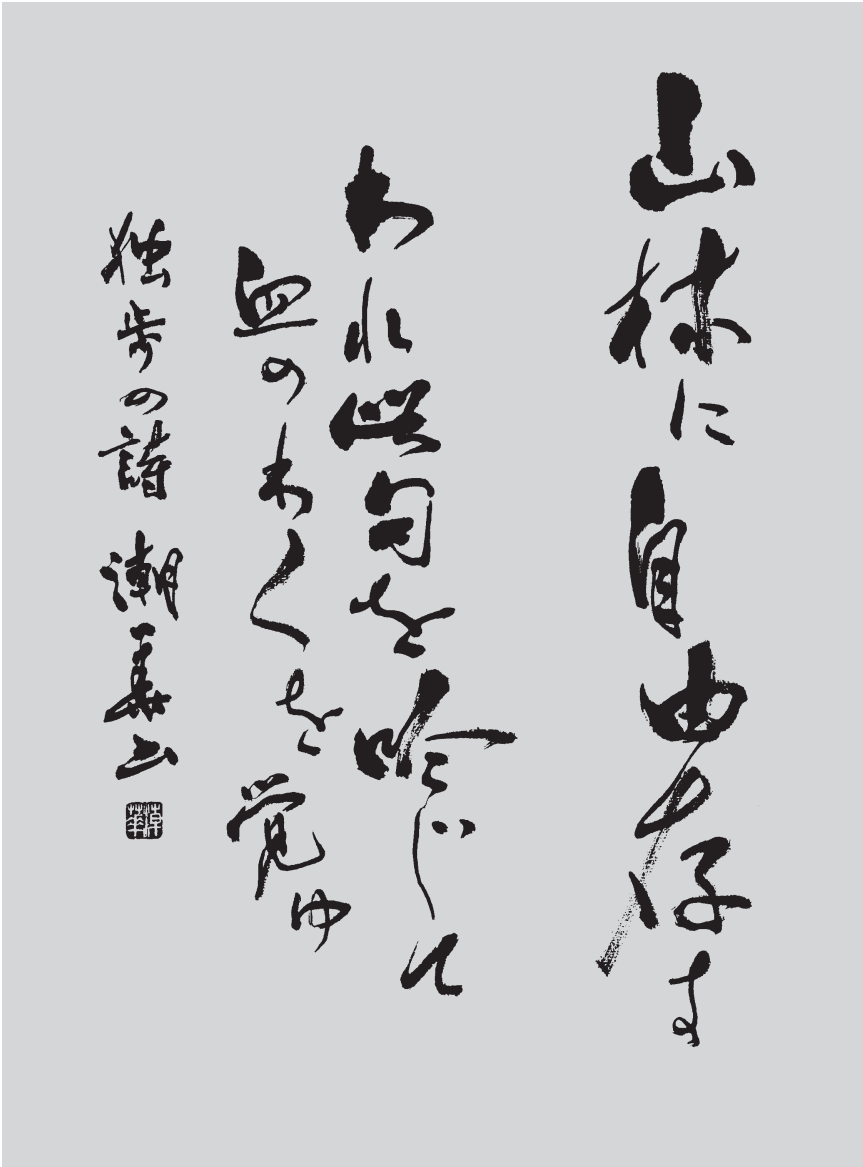
- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料540円）

水貝潮華先生書

山林に自由存す
われ此句を吟じて血のわくを覚ゆ

国木田独歩

今月の作品は、紙面を大きく二つのブロックに分け、そのブロック間にゆったりと余白を取りました。一ブロックは文字を大きく、そして二ブロックは前の言葉を受け、少し小さめにまとめることにより、一層、お互いのブロックが引き立つと思います。また、落款も含め、出だしから徐々に行が左へ進むに従い、下部が上がるように書いてみました。



国木田独歩（一八七〇～一九〇八）
詩人、小説家。記者生活のかたわら、人間と自然の交感を捉えた「武蔵野」等を発表。この詩は「抒情詩」所収「山林に自由存す」（四行四連）の冒頭二行。

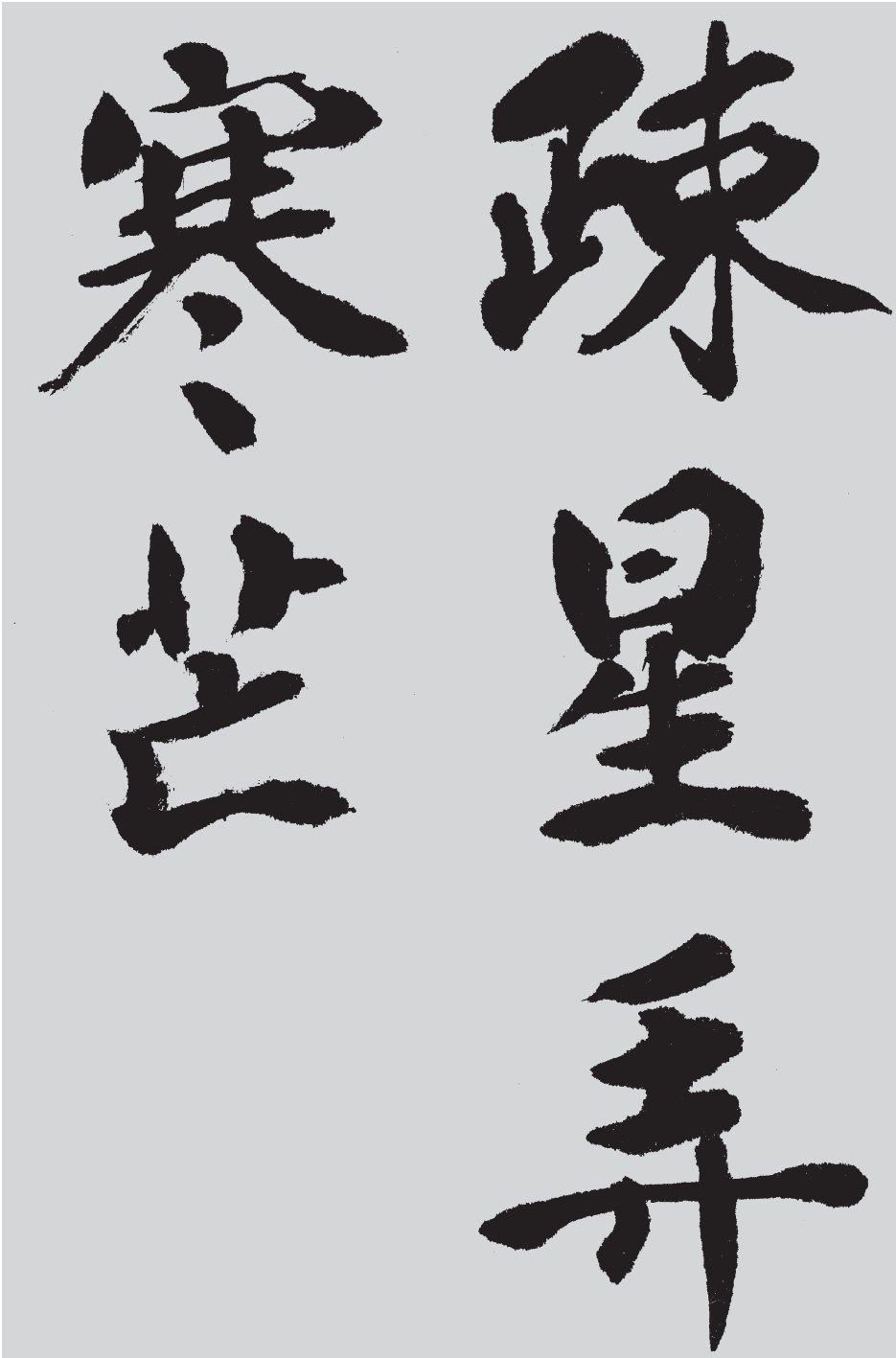
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料540円。

①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

疎星寒芒を弄す(蘇軾)

訳：芒は光、まばらな星影が寒く空にまたたいている。



〈視点として〉

「疎」隣のタテ画、引き締めてスッキリ。「弄」末画もオドオドせず決めたい。右行のポイント。「寒」筆順は、「横、タテ、タテ、横、横」か「横、横、横、タテ、タテ」末画一点は軽く。



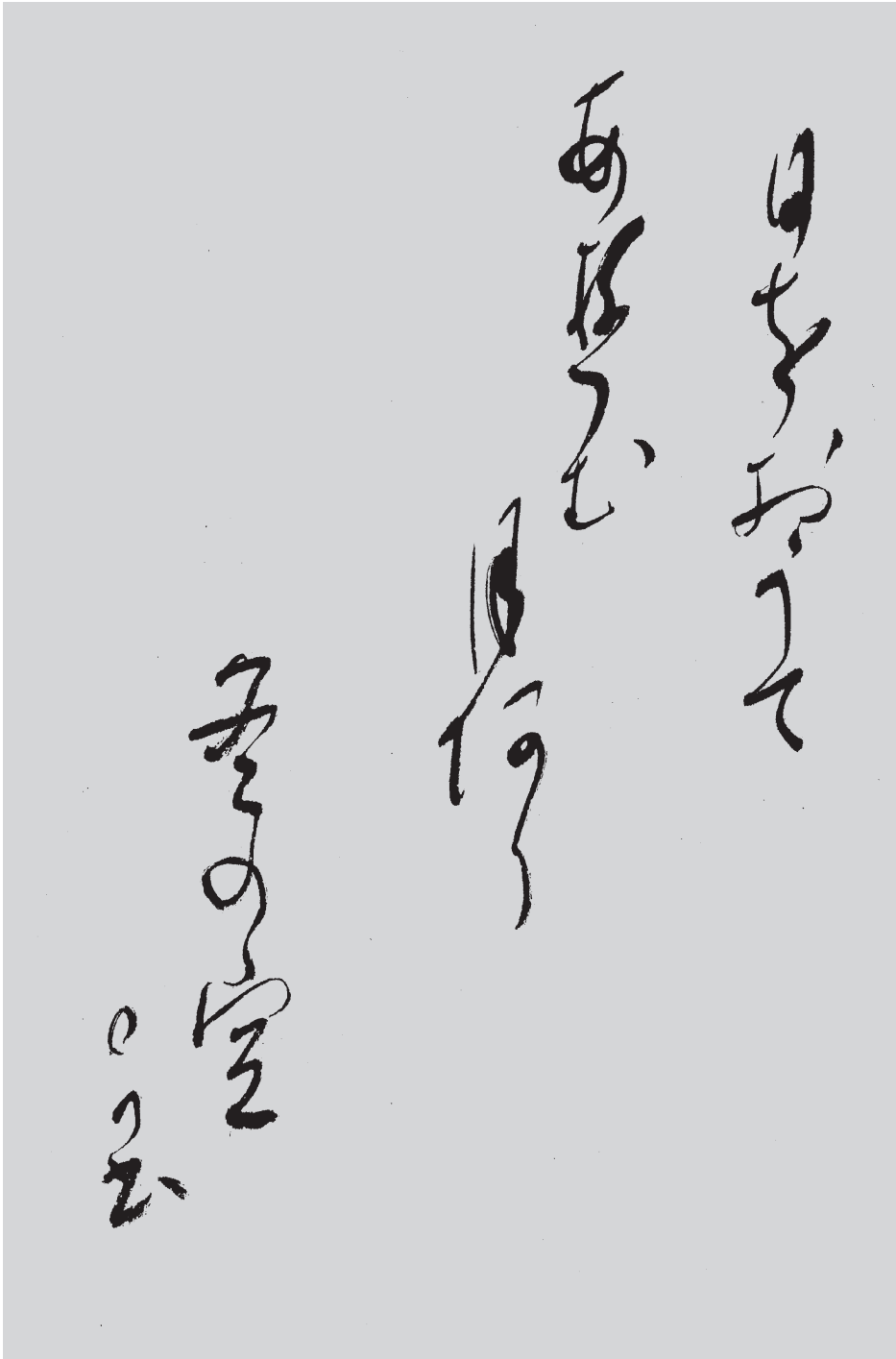
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

日を追うて歩む月あり冬の空（たかし）

日をおうてあ遊む月阿り冬の空



へ「リズム」に確信をもって「初歩段階」
 連綿の基礎的な用筆が含まれています。特に初歩段階者は大いに習熟してほし
 い。それは、「日」から「を」、「を」から「お」、「あ」から「遊」、「遊」から
 「む」、この受けてからタテ画へ入るリズム、このリズムを体得してほしい。他
 では「おうて」、「月阿り」これもリズムに尽きます。

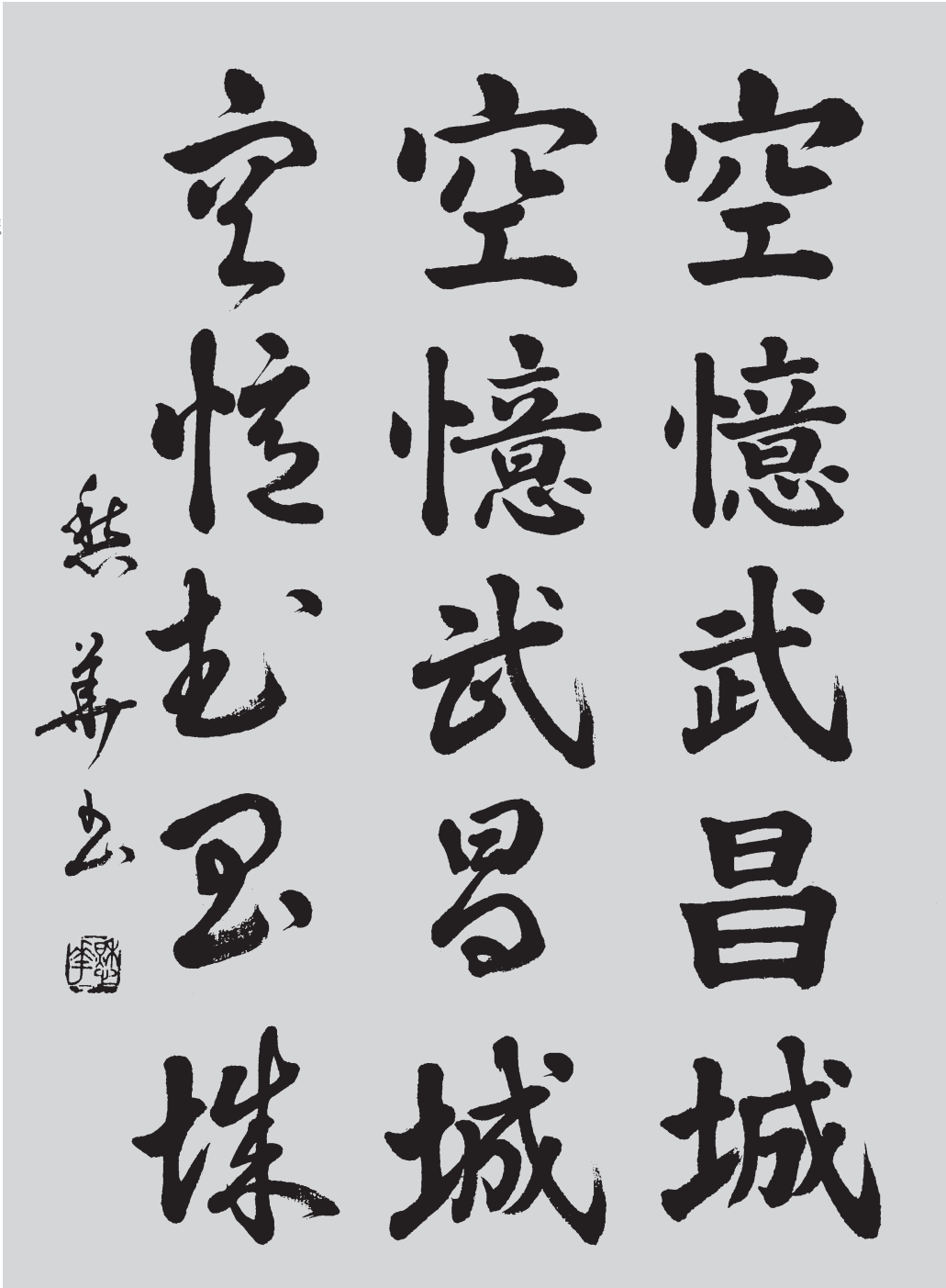
◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は430円。

- ①かな部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

楷、行、草、三 体 参 考

石田 愁華 先生 書

空憶武昌城
空しく憶う
武昌城



訳：むなしくも、武昌の城を遠く憶いだすばかりだ。

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円。

随 意 部 参 考

路川千曄先生書

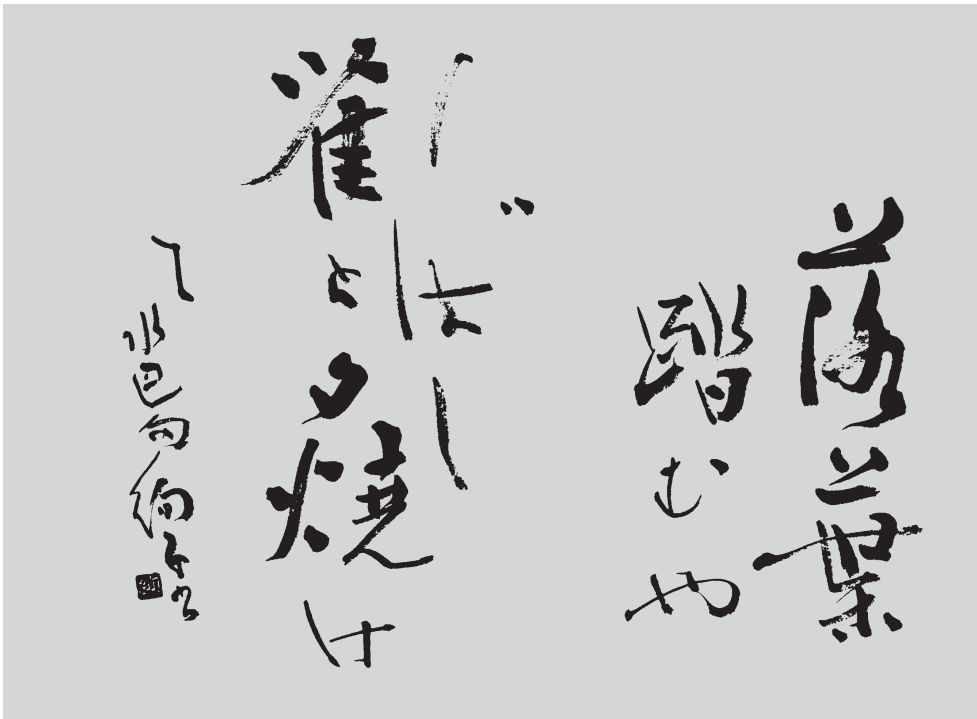
雅通(傳亮)
雅通。



訳：ただしく明らかにすること。

宮 絢子先生書

落葉踏むやしばし雀と夕焼けて(水巴)



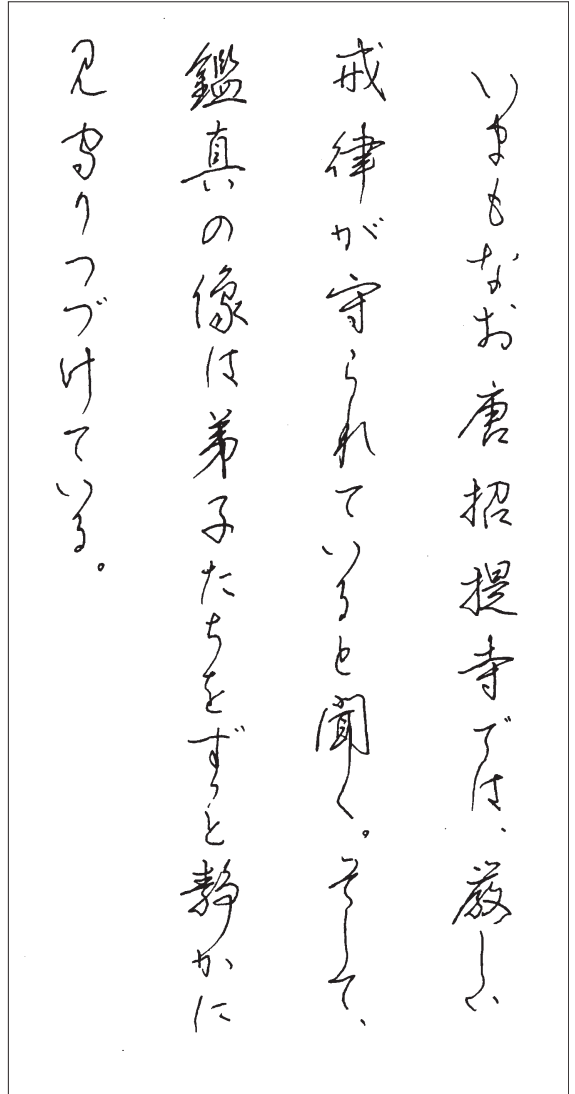
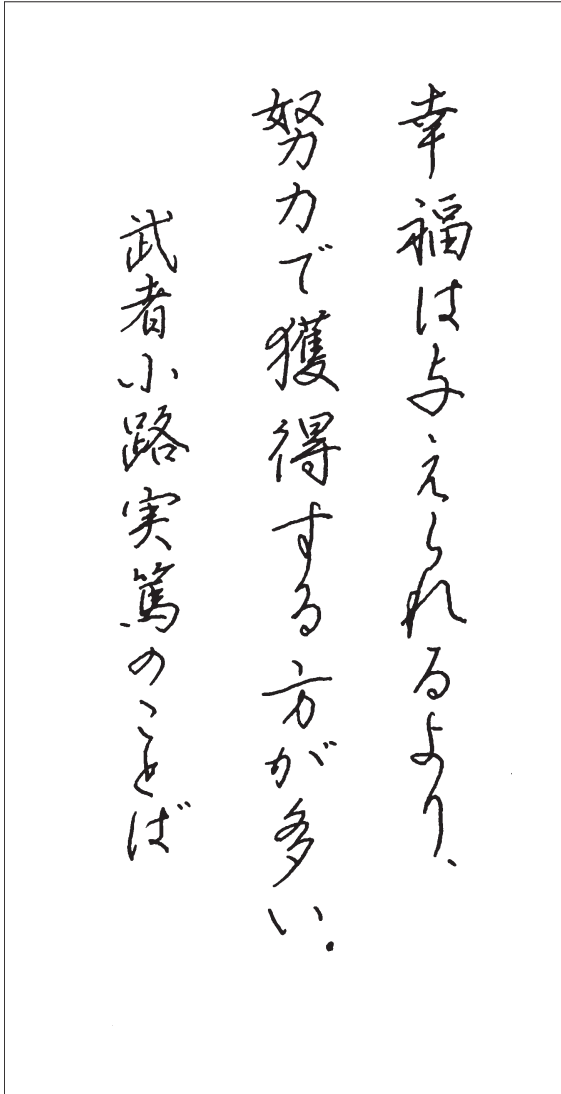
1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は430円

稲畑 暉穂 先生書

川上 香蓉 先生書

課題 2 (初段階以下)

課題 1 (初段階以上)



課題 1 (初段階以上)

いまでもなお唐招提寺では、厳しい戒律が守られていると聞く。そして、鑑真の像は弟子たちをずっと静かに見守りつづけている。

『百寺巡礼』唐招提寺 五木寛之

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (5) 会員は無料・会員外は四三〇円

課題 2 (初段階以下)

幸福は与えられるより、努力で獲得する方が多い。

武者小路実篤のことは